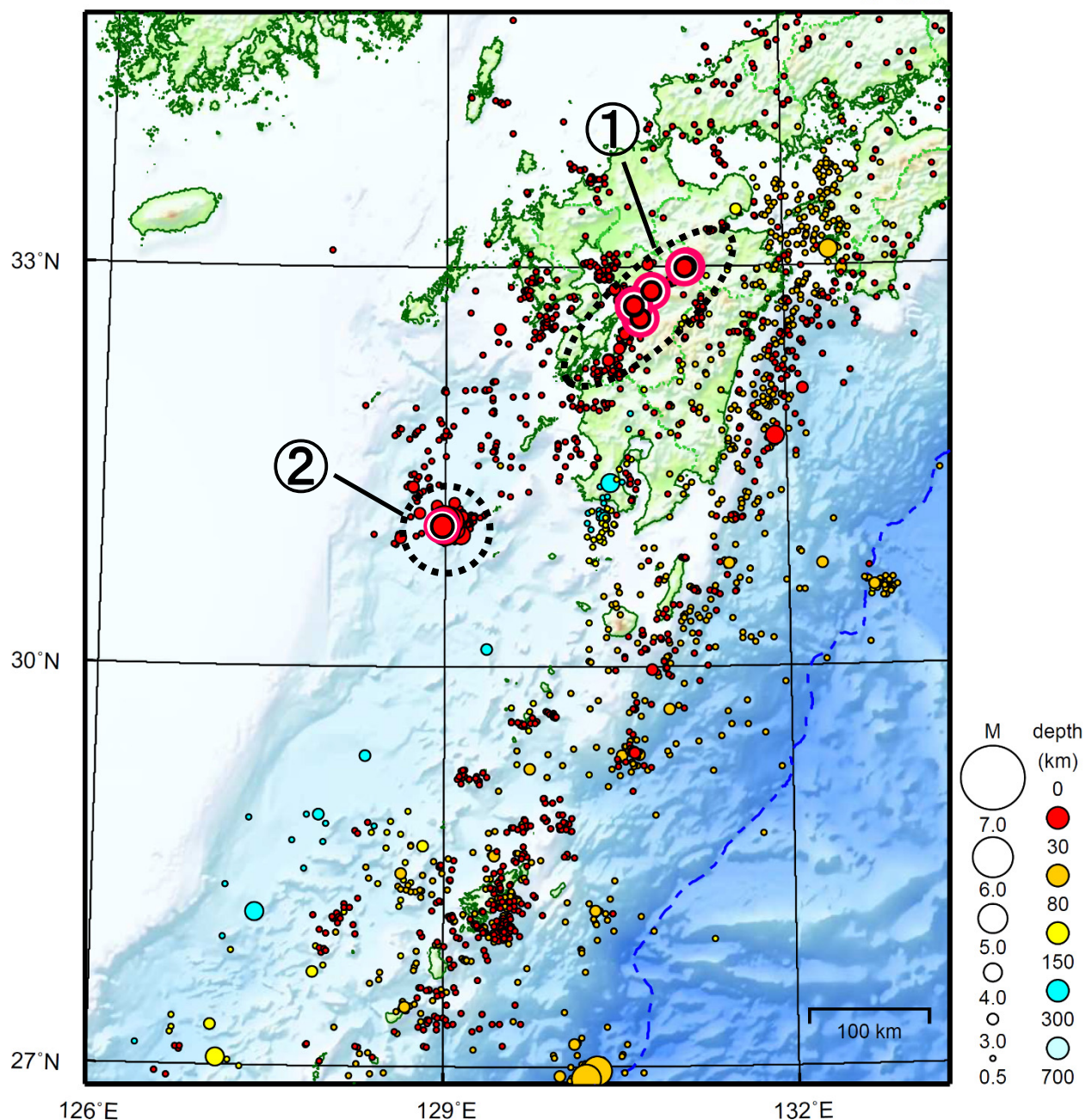


九州地方

2016/05/01 00:00 ~ 2016/05/31 24:00

N=4006



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 「平成 28 年(2016 年)熊本地震」の活動域では、今期間に震度 4 を観測する地震が 8 回発生した。
- ② 薩摩半島西方沖で M5.5 の地震（最大震度 2）が発生するなど、最大震度 1 または 2 を観測する地震が 14 回発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」（領域 a）の地震活動は、5 月に入り、全体として減衰傾向が見られる。熊本県熊本地方（領域 a 3）及び阿蘇地方（領域 a 2）の活動は、減衰しつつも活動は継続しており、M4.0 以上の地震が 8 回発生した。そのうち最大規模の地震は 5 月 5 日 10 時 40 分に発生した M4.9 の地震（最大震度 4）である。大分県中部（領域 a 1）の活動は減衰している。5 月中に震度 1 以上を観測した地震は 520 回※¹（最大震度 4：8 回、最大震度 3：43 回、最大震度 2：131 回、最大震度 1：338 回）発生した。今回の一連の地震活動により、死者 69 人、負傷者 1,663 人、住家全壊 7,151 棟などの被害が発生した（6 月 7 日 14 時 00 分現在、総務省消防庁による）。

※¹ 2016 年 5 月 31 日現在の速報値であり、後日の調査で変更されることがある。

表 1 「平成 28 年（2016 年）熊本地震」による被害状況

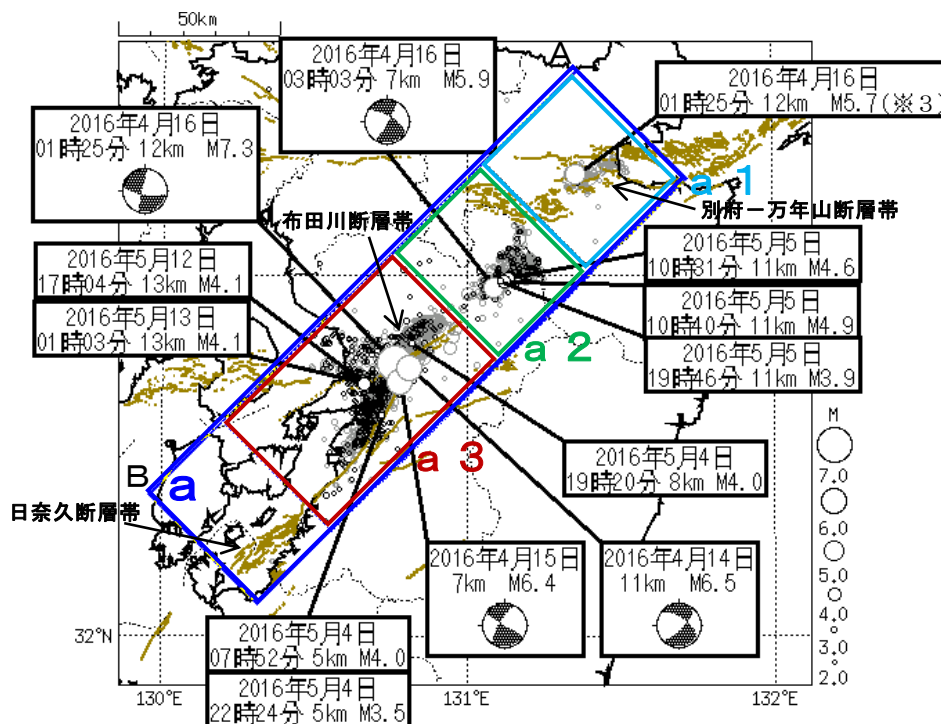
（平成 28 年 6 月 7 日 14 時 00 分現在、総務省消防庁調べ）

都道府県名	人 的 被 害			住 家 被 害			非住家被害		火災
	死者	負 傷 者		全壊	半壊	一部破損	公共建物	その他	
		重傷	軽傷						
	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	
山 口 県						3			
福 岡 県		1	17		1	230		1	
佐 賀 県		4	9			1		2	
長 崎 県						1			
熊 本 県	69	333	1,263	7,149	21,083	98,819	243	991	16
大 分 県		4	24	2	95	2,957		20	
宮 崎 県		3	5		2	20			
合 計	69	345	1,318	7,151	21,181	102,031	243	1,014	16

震央分布図※²

（2016 年 4 月 14 日 21 時～5 月 31 日、深さ 0～20km、M $\geq$ 2.0）

2016 年 5 月の地震を濃く表示

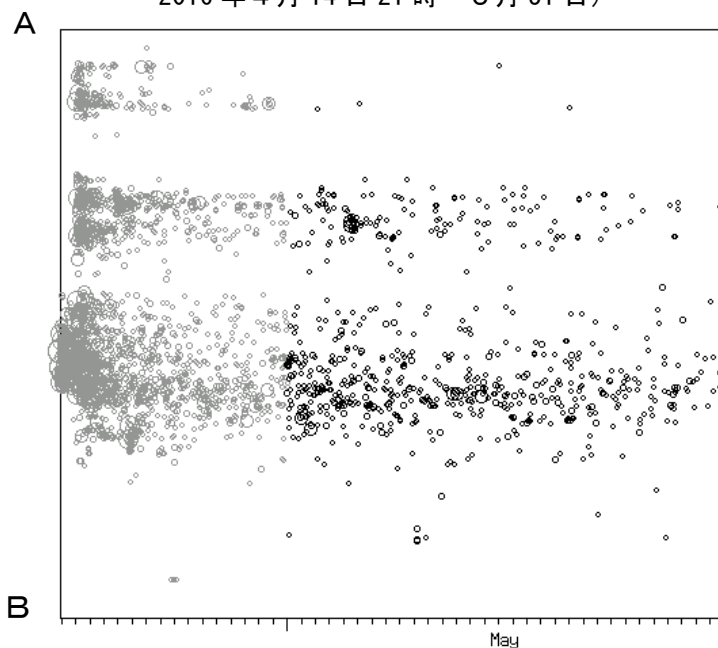


M6.0 以上の地震と各領域で最大規模の地震（5 月の地震は震度 4 を観測した地震）に吹き出しをつけている。

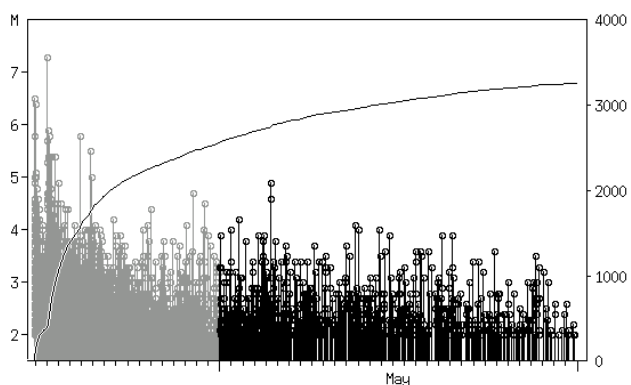
※² 4 月 14 日 21 時以降は未処理のデータがある。

※³ M7.3 の地震の発生直後に発生したものであり、M の値は参考値。

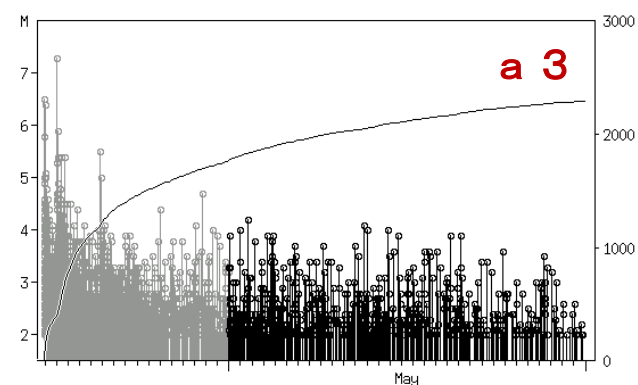
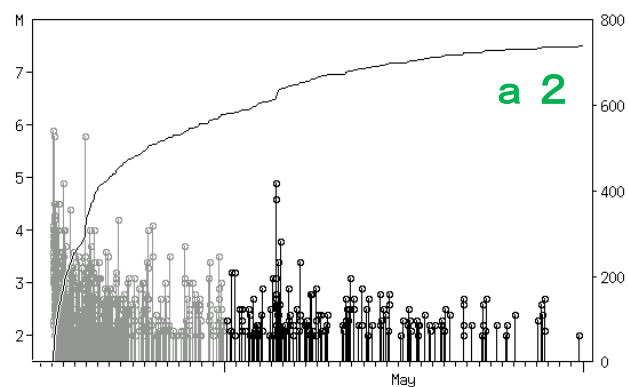
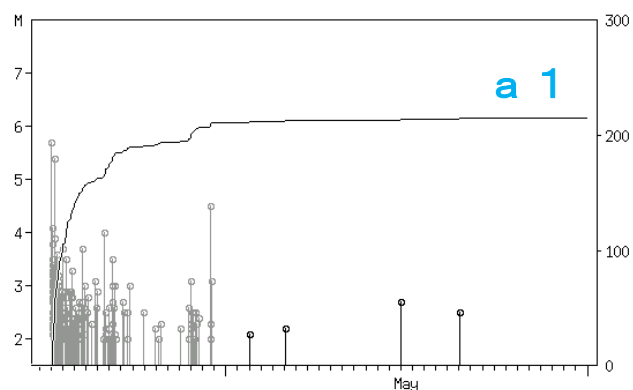
領域 a 内の時空間分布図※² (A-B 投影、
2016 年 4 月 14 日 21 時～5 月 31 日)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図※²



領域 a1, a2, a3 内の M-T 図及び回数積算図※²



図は、震源の分布具合や活動の盛衰に着目するため、M5.0 未満の地震は自動処理により計算した震源（計算誤差の大きなものを含む）を表示

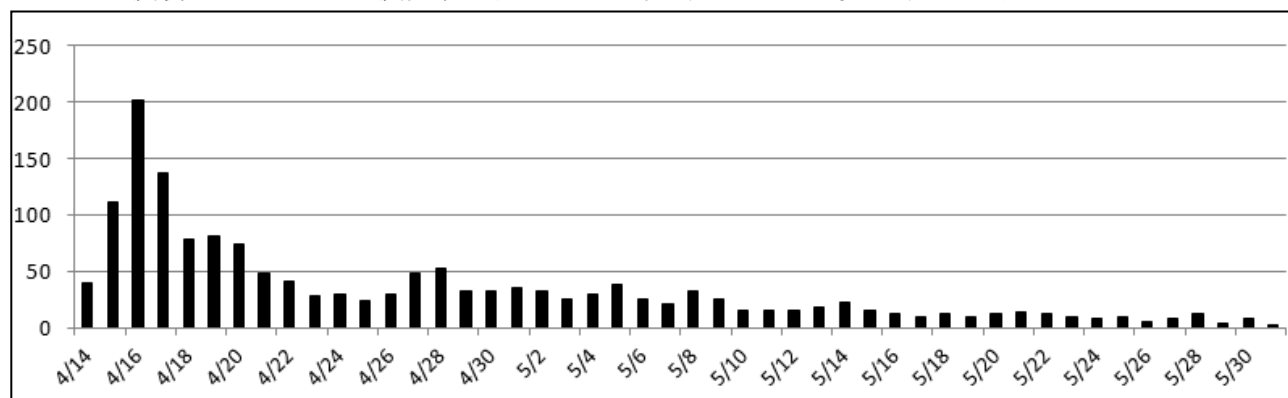
「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震回数

期間	最大震度別回数									合計	累計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		
4/14～4/30	332	443	220	80	7	4	3	2	2	1093	1093
5/1	24	9	3	0	0	0	0	0	0	36	1129
5/2	22	10	1	0	0	0	0	0	0	33	1162
5/3	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	1187
5/4	13	10	3	3	0	0	0	0	0	29	1216
5/5	23	10	3	3	0	0	0	0	0	39	1255
5/6	14	7	4	0	0	0	0	0	0	25	1280
5/7	13	6	2	0	0	0	0	0	0	21	1301
5/8	23	8	1	0	0	0	0	0	0	32	1333
5/9	20	3	3	0	0	0	0	0	0	26	1359
5/10	6	6	3	0	0	0	0	0	0	15	1374
5/11	12	3	1	0	0	0	0	0	0	16	1390
5/12	9	5	1	1	0	0	0	0	0	16	1406
5/13	12	4	1	1	0	0	0	0	0	18	1424
5/14	15	4	3	0	0	0	0	0	0	22	1446
5/15	12	1	2	0	0	0	0	0	0	15	1461
5/16	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	1473
5/17	6	3	1	0	0	0	0	0	0	10	1483
5/18	8	4	1	0	0	0	0	0	0	13	1496
5/19	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10	1506
5/20	7	5	1	0	0	0	0	0	0	13	1519
5/21	8	3	3	0	0	0	0	0	0	14	1533
5/22	9	2	1	0	0	0	0	0	0	12	1545
5/23	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9	1554
5/24	7	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1562
5/25	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9	1571
5/26	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1577
5/27	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8	1585
5/28	8	5	0	0	0	0	0	0	0	13	1598
5/29	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1602
5/30	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8	1610
5/31	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1613
合計	670	574	263	88	7	4	3	2	2	1613	

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがある。

熊本地震により一時的に震度計設置環境が適切でなくなり、観測された震度データを精査することとしていた「熊本南区富合町」及び「南阿蘇村河陽」震度観測点について、精査が終了し、観測された震度データに問題がなかったことを確認した。

震度 1 以上の日別地震回数グラフ（2016 年 4 月 14 日 21 時～5 月 31 日）

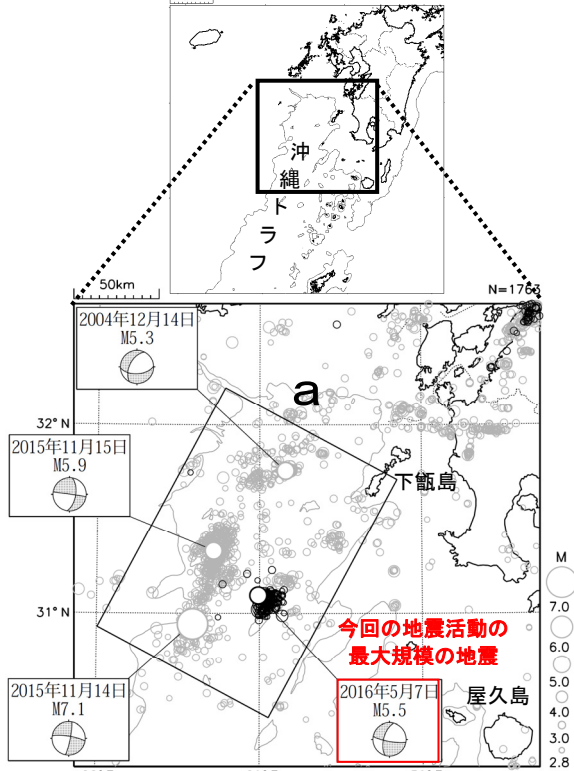


薩摩半島西方沖の地震活動

震央分布図

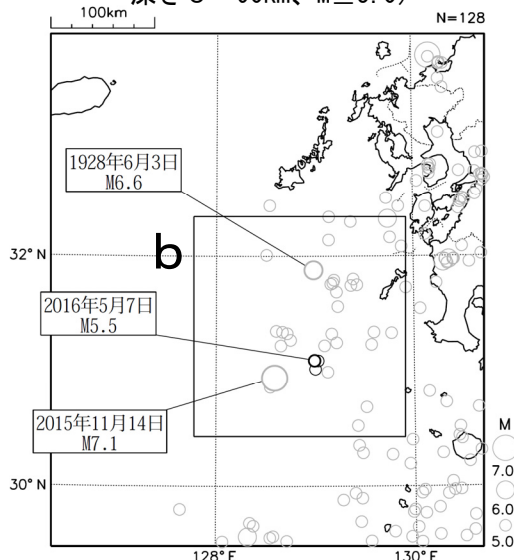
(1997年10月1日～2016年5月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.8$)

2016年5月の地震を濃く表示、図中の発震機構解はCMT解、図中の細線は水深500mを示す

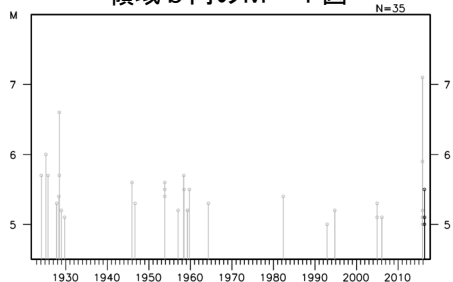


震央分布図

(1923年1月1日～2016年5月31日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図



2016年5月6日から薩摩半島西方沖で地震活動がやや活発となり、5月31日までに最大震度1以上を観測した地震が14回(最大震度2:10回、最大震度1:4回)発生した。これらの地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。最大規模の地震は、5月7日14時42分に発生したM5.5の地震(最大震度2)である。この地震は、発震機構(CMT解)が北北西-南南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺(領域a)では、M4.0以上の地震が時々発生している。2015年11月14日にはM7.1の地震(最大震度4)が発生し、鹿児島県の中之島(海上保安庁)で30cmの津波を観測した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺(領域b)では、1928年6月3日にM6.6の地震(最大震度5)が発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図

